



2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 株式会社IBJ 上場取引所 東
 コード番号 6071 URL https://www.ibjapan.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石坂 茂
 問合せ先責任者(役職名) 経営管理部長 (氏名) 澤村 勇典 (TEL) 080 (7027) 0983
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	11,057	6.6	1,569	46.9	1,626	63.6	1,168	83.7
2021年12月期第3四半期	10,375	8.9	1,068	△5.0	993	△5.5	636	83.8

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 1,292百万円(76.2%) 2021年12月期第3四半期 733百万円(49.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	29.11	—
2021年12月期第3四半期	15.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第3四半期	13,868	7,664	52.5	180.78
2021年12月期	13,314	6,623	46.3	154.10

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 7,273百万円 2021年12月期 6,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 配当予想の修正については、本日(2022年11月10日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,694	4.4	1,920	26.7	1,950	36.7	1,658	57.3	41.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期3Q	42,000,000株	2021年12月期	42,000,000株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	1,764,106株	2021年12月期	1,955,106株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期3Q	40,158,235株	2021年12月期3Q	40,038,324株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、この四半期決算短信(添付資料)P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
(収益認識関係)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、新型コロナウイルスの感染者数には減少の傾向がみられたものの引き続き増減を繰り返しており、経済活動の停滞が依然として続いております。さらに、原油をはじめとした原材料価格の高騰やウクライナ情勢の悪化等も生じており、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

当社グループにおきましても、長期化する新型コロナウイルス感染症による影響を受けておりますが、中期経営計画(2021年1月～2027年12月)である「成婚組数2.5万組」「加盟相談所数1万社」「お見合い会員数20万人」「マッチング会員数25万人」の達成に向けて、引き続き業容の拡大に努めました。

結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,057,801千円(前年同期比6.6%増)、営業利益は1,569,699千円(同46.9%増)、経常利益は1,626,022千円(同63.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,168,969千円(同83.7%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。

当社グループの報告セグメントは、従来「婚活事業」と「ライフデザイン事業」に区分しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「加盟店事業」、「直営店事業」、「マッチング事業」、「ライフデザイン事業」に変更しております。これは、事業の共通性を軸に事業セグメントの集約を見直し、主に従来の「婚活事業」を細分化することで経営管理を一層強化し、収益の最大化を図ることができると判断したためです。

以下の前年同期比較については、前年四半期の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しております。

詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)セグメント情報」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

当社のビジネスモデル

婚活業界最大級のIBJグループネットワークとノウハウで成婚創出



Copyright © IBJ Inc. All rights reserved.

<加盟店事業>

当第3四半期連結累計期間において、当セグメントの売上高は2,051,255千円（前年同期比34.9%増）、事業利益（事業利益は、営業利益+減価償却費+のれん償却費+長期前払費用償却費としております（内部取引調整済み））は1,261,348千円（同30.3%増）でした。交通広告やPR（メディア掲載）などのマーケティング強化により、当第3四半期連結会計期間において営業面談数が1,454件（前年同四半期比81.3%増）と増加いたしました。それに伴い新規開業件数は286件（前年同四半期比85.7%増）と大幅に増加いたしました。その結果、2022年9月末時点の加盟店数（稼働のみ）は3,530社（前年四半期末比21.9%増）と順調に積み上がり、日本結婚相談所連盟の登録会員数及びお見合い件数は右肩上がりに増加しております。

<直営店事業>

当第3四半期連結累計期間において、当セグメントの売上高は5,908,073千円（前年同期比18.1%増）、事業利益（事業利益は、営業利益+減価償却費+のれん償却費+長期前払費用償却費としております（内部取引調整済み））は1,435,782千円（同45.5%増）でした。入会営業担当のIBJメソッドの浸透や3ブランドの連携強化により、当第3四半期連結累計期間において入会数及び登録会員数が増加し、9月の直営3ブランドのお見合い件数は月間23,677件（前年同月比32.2%増）と大幅に増加いたしました。

<マッチング事業>

当第3四半期連結累計期間において、当セグメントの売上高は2,080,297千円（前年同期比27.9%減）、事業利益（事業利益は、営業利益+減価償却費+のれん償却費+長期前払費用償却費としております（内部取引調整済み））は197,934千円（同15.1%減）でした。これは第2四半期連結会計期間において、マッチング事業セグメントに含まれておりました株式会社Diverseが連結除外となったことが要因です。マッチング事業におけるパーティー事業においては、パーティー開催本数は当第3四半期連結会計期間で1.0万本（前年同四半期比5.3%増）となったことに伴い、参加者数は当第3四半期連結会計期間で12.3万人（前年同四半期比5.7%増）となりました。マッチング事業におけるアプリ事業においては、成婚数の先行指標となるマッチング数が18.5万件（前年同期比3.6%増）と増加し、引き続き結婚意識の高いアプリ会員が活発化してきております。

事業別サマリー・KPIは以下のとおりとなります。

事業別サマリー

(単位：百万円)	2021年				2022年					
	1Q累計	2Q累計	3Q累計	通期	1Q累計	2Q累計	3Q累計	YoY(増減額)	YoY(増減率)	
加盟店事業	売上高	525	1,039	1,520	2,010	560	1,280	2,051	+530	+34.9%
	┆開業支援事業	270	528	735	951	258	667	1,104	+368	+50.2%
	┆加盟店事業	254	510	785	1,058	302	613	946	+161	+20.6%
	事業利益	349	680	968	1,259	323	776	1,261	+293	+30.3%
	┆開業支援事業	175	338	445	559	116	350	593	+148	+33.3%
	┆加盟店事業	174	342	522	699	206	426	667	+144	+27.7%
直営店事業	売上高	1,557	3,259	5,002	6,818	1,907	3,902	5,908	+905	+18.1%
	事業利益	278	628	986	1,425	463	944	1,435	+449	+45.5%
マッチング事業 <small>※5月1日よりDiverse連結対象外へ</small>	売上高	920	1,879	2,885	3,909	861	1,540	2,080	△805	△27.9%
	┆パーティー事業	233	525	823	1,185	268	616	959	+136	+16.6%
	┆アプリ事業	686	1,354	2,062	2,723	593	924	1,120	△942	△45.7%
	事業利益	89	138	233	330	49	131	197	△35	△15.1%
	┆パーティー事業	△25	△36	△33	23	8	39	54	+87	-
	┆アプリ事業	115	174	266	306	41	92	143	△123	△46.2%
ライフデザイン事業	売上高	290	577	965	1,343	317	642	1,018	+52	+5.5%
	事業利益	21	11	66	92	47	73	142	+76	+115.3%

Copyright © IBJ Inc. All rights reserved.

※事業利益＝営業利益+減価償却費+のれん償却費+長期前払費用償却費、内部取引調整済み

※11/10付開示の「(訂正)「2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ」に伴い、上記2022年2Qの直営店事業の数値を一部訂正しております

事業別KPI

(期別)	2021年					2022年					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	YoY(増減)	YoY(増減率)	
加盟店事業	新規開業件数	176	164	154	220	714	260	277	286	+132	+85.7%
	面談数	834	849	802	722	3,207	1,180	1,377	1,454	+652	+81.3%
	加盟店数(稼働のみ)※	2,732	2,832	2,895	3,039	-	3,181	3,362	3,530	+635	+21.9%
	【日本結婚相談所連盟】 登録会員数※	68,707	71,546	73,466	75,191	-	76,896	79,277	81,276	+7,810	+10.6%
	【日本結婚相談所連盟】 お見合い件数※	43,344	44,154	46,135	46,286	-	50,812	52,458	55,862	+9,727	+21.1%
直営店事業	入会数	3,746	4,349	4,441	4,315	16,851	4,500	5,070	4,793	+352	+7.9%
	登録会員数※	29,938	30,533	31,241	31,380	-	31,556	32,440	32,887	+1,646	+5.3%
	お見合い件数※	16,090	16,668	17,905	18,694	-	20,085	21,775	23,677	+5,772	+32.2%
マッチング事業	パーティー参加者数	91,386	111,108	116,475	136,818	455,787	96,039	125,677	123,160	+6,685	+5.7%
	パーティー開催本数	8,883	9,280	10,361	11,772	40,296	8,654	11,033	10,905	+544	+5.3%
	マッチング数 (マッチングアプリ)	180,239	177,121	179,454	182,808	719,622	194,347	193,342	185,881	+6,427	+3.6%

※【日本結婚相談所連盟】登録会員数・お見合い件数、直営店事業の登録会員数・お見合い件数は各Q末時点の数値

Copyright © IBJ Inc. All rights reserved.

また、中期経営計画(2021-2027年)と達成に向けた戦略は以下となります。

中期経営計画(2021-2027年)

日本の人口減少・少子化問題の解決に向けて、
重要指標とその先行指標となるサブ指標を策定

重要指標とサブ指標のロードマップ

	2021年実績	2024年予	2027年予
重要指標			
成婚組数	10,402組	15,000組	25,000組
重要指標			
加盟店数	3,039社	5,000社	10,000社
サブ指標			
お見合い会員数※1	8.7万人	13.2万人	20.0万人
サブ指標			
マッチング会員数※2	17.9万人	19.5万人	25.0万人

※1 お見合い会員数とは、日本結婚相談所連盟、IBJメンバーズ、サンマリエ、ZWEIの結婚相談所サービスに登録している会員数
※2 マッチング会員数とは、PARTY☆PARTY、Rushの登録会員数のうち1年以内にログイン履歴のある会員+プライダルネット、Diverse(youbride・YYC)の年度末有料会員数(2022年以降はYYC除く)

Copyright © IBJ Inc. All rights reserved.

- 戦略①「新たな集客チャネルの開拓」マッチングサービス経験者を直営店・加盟店事業へトスアップ
 戦略②「収益ポイント拡充、付加価値増強によるLTVアップ」婚活の周辺にある潜在的商流を捉え収益化
 戦略③「加盟店への支援拡充」加盟店支援強化により事業と会員基盤拡大へ
 戦略④「コーポレートブランディング強化」【結婚・婚活=IBJ】の定着と加盟店の求心力UPを目指す

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,477,775千円となり、前連結会計年度末に比べ、37,136千円増加しました。これは主に、営業投資有価証券が515,797千円、前払費用が27,418千円、預け金が36,757千円増加した一方、現金及び預金が541,825千円減少したためです。固定資産は6,390,391千円となり、前連結会計年度末に比べ516,435千円増加しました。これは主に、建物が85,784千円、土地が413,589千円、投資有価証券が331,740千円、長期前払費用が104,035千円増加した一方、のれんが264,841千円、繰延税金資産が135,551千円減少したためです。

この結果、総資産は、13,868,166千円となり、前連結会計年度末に比べ553,571千円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,117,210千円となり、前連結会計年度末に比べ、246,260千円減少しました。これは主に、短期借入金が251,000千円、未払法人税等が89,701千円、未払消費税等が39,698千円、賞与引当金が99,585千円増加した一方、未払金が275,262千円、未払費用が147,778千円、前受金が304,153千円減少したためです。固定負債は2,086,715千円となり、前連結会計年度末に比べ240,962千円減少しました。これは主に繰延税金負債が43,983千円増加した一方、長期借入金が279,500千円減少したためです。

この結果、負債合計は、6,203,925千円となり、前連結会計年度末に比べ487,223千円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,664,240千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,040,794千円増加しました。これは主に、資本剰余金が52,306千円、利益剰余金が794,132千円、その他有価証券評価差額金が158,987千円増加したためです。

この結果、自己資本比率は、52.5%(前連結会計年度末は46.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響に関する見積り及び判断につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)」をご参照ください。

また、当第3四半期連結会計期間末日及び本書公表日現在におきまして、2022年12月期の通期連結業績予想については変更がございませんが、今後の状況の変化などにより公表すべき事実が発生した場合には、遅滞なくお知らせします。

なお、将来予測などについては、新型コロナウイルス感染症の拡大や収束時期等の見積りは不確定要素が多いため、実際の結果と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,361,298	3,819,473
売掛金	1,320,392	1,340,141
営業投資有価証券	1,462,663	1,978,461
商品	2,908	2,035
貯蔵品	4,157	2,350
前渡金	7,952	572
前払費用	239,023	266,441
未収還付法人税等	6	-
1年内回収予定の長期貸付金	1,999	1,999
預け金	14,436	51,193
その他	27,952	20,058
貸倒引当金	△2,152	△4,953
流動資産合計	7,440,638	7,477,775
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,534,807	1,701,694
減価償却累計額	△534,328	△615,430
建物(純額)	1,000,478	1,086,263
車両運搬具	25,562	10,589
減価償却累計額	△13,557	△4,257
車両運搬具(純額)	12,005	6,332
工具、器具及び備品	706,811	666,704
減価償却累計額	△638,477	△577,248
工具、器具及び備品(純額)	68,333	89,456
土地	83,629	497,219
リース資産	39,903	40,149
減価償却累計額	△11,217	△16,334
リース資産(純額)	28,685	23,814
有形固定資産合計	1,193,133	1,703,085
無形固定資産		
のれん	1,878,899	1,614,057
ソフトウェア	326,980	324,752
ソフトウェア仮勘定	960	10,084
無形固定資産合計	2,206,840	1,948,895
投資その他の資産		
投資有価証券	761,428	1,093,169
関係会社株式	2,687	-
長期貸付金	26,092	5,333
繰延税金資産	290,780	155,228
長期前払費用	13,394	117,430
保険積立金	239,427	247,429
差入保証金	1,140,170	1,114,779
その他	-	5,040
投資その他の資産合計	2,473,981	2,738,410
固定資産合計	5,873,955	6,390,391
資産合計	13,314,594	13,868,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,319	34,899
短期借入金	1,410,000	1,661,000
1年内返済予定の長期借入金	393,500	376,000
リース債務	6,420	6,437
未払金	769,559	494,297
未払費用	523,692	375,913
未払法人税等	136,086	225,788
未払消費税等	131,872	171,570
前受金	885,469	581,316
預り金	27,121	52,906
賞与引当金	13,737	113,322
ポイント引当金	15,759	-
その他	11,931	23,757
流動負債合計	4,363,471	4,117,210
固定負債		
長期借入金	1,711,250	1,431,750
リース債務	23,815	17,744
繰延税金負債	-	43,983
資産除去債務	592,094	591,414
その他	518	1,823
固定負債合計	2,327,678	2,086,715
負債合計	6,691,149	6,203,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	699,585	699,585
資本剰余金	802,475	854,782
利益剰余金	5,474,661	6,268,794
自己株式	△999,338	△901,709
株主資本合計	5,977,383	6,921,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,551	352,538
その他の包括利益累計額合計	193,551	352,538
新株予約権	634	634
非支配株主持分	451,875	389,615
純資産合計	6,623,445	7,664,240
負債純資産合計	13,314,594	13,868,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)
売上高	10,375,056	11,057,801
売上原価	339,241	370,150
売上総利益	10,035,815	10,687,650
返品調整引当金繰入額	13,840	-
差引売上総利益	10,021,974	10,687,650
販売費及び一般管理費	8,953,700	9,117,951
営業利益	1,068,274	1,569,699
営業外収益		
受取利息	204	174
受取配当金	8,055	7,699
為替差益	-	7,228
投資事業組合運用益	19,475	-
有価証券評価益	-	43,401
その他	7,510	3,099
営業外収益合計	35,245	61,602
営業外費用		
支払利息	9,002	4,174
持分法による投資損失	100,414	-
その他	218	1,105
営業外費用合計	109,636	5,279
経常利益	993,883	1,626,022
特別利益		
固定資産売却益	1,390	924
投資有価証券売却益	43,909	-
関係会社株式売却益	-	6,434
受取補償金	61,688	-
退職給付制度終了益	52,413	-
その他	13,263	-
特別利益合計	172,665	7,358
特別損失		
固定資産除却損	13,149	2,962
減損損失	21,089	-
店舗閉鎖損失	14,140	10,263
新型コロナウイルス感染症による損失	59,868	-
その他	-	667
特別損失合計	108,248	13,893
税金等調整前四半期純利益	1,058,300	1,619,487
法人税、住民税及び事業税	402,123	540,404
法人税等調整額	△37,220	△54,209
法人税等合計	364,903	486,195
四半期純利益	693,397	1,133,292
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	57,150	△35,677
親会社株主に帰属する四半期純利益	636,247	1,168,969

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	693,397	1,133,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,014	158,987
その他の包括利益合計	40,014	158,987
四半期包括利益	733,412	1,292,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	676,261	1,327,957
非支配株主に係る四半期包括利益	57,150	△35,677

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、連結子会社であった株式会社Diverseの株式の大半を2022年4月28日に譲渡したことにより、連結の範囲から除外しております。この結果、第2四半期連結会計期間において、利益剰余金が134,567千円減少しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当第3四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

1. 前事業年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。
2. 第2四半期連結会計期間において、株式会社IBJの保有していた一部の投資有価証券を、IBJファイナンシャルアドバイザー株式会社へ譲渡いたしました。これにより前連結会計年度に固定資産の「投資有価証券」に計上していた投資事業有限責任組合等への出資「333,322千円」を流動資産の「営業投資有価証券」へ振り替えております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加盟店事業	直営店事業	マッチング 事業	ライフデザイン 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,520,920	5,002,891	2,885,873	965,371	10,375,056	—	10,375,056
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	47,259	25,563	7,288	4,045	84,157	△84,157	—
計	1,568,180	5,028,454	2,893,162	969,416	10,459,213	△84,157	10,375,056
セグメント利益	947,412	755,450	77,737	30,181	1,810,781	△742,507	1,068,274

(注) 1. セグメント利益の調整額△742,507千円には、セグメント間取引消去473千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△742,980千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

ライフデザイン事業において、21,089千円の減損損失を計上しています。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加盟店事業	直営店事業	マッチング 事業	ライフデザイン 事業	計		
売上高							
一時点で移転されるサービス	1,297,585	1,874,355	1,466,362	89,589	4,727,893	—	4,727,893
一定の期間にわたり移転されるサービス	753,669	4,033,717	613,934	865,122	6,266,444	—	6,266,444
顧客との契約から生じる収益	2,051,255	5,908,073	2,080,297	954,711	10,994,338	—	10,994,338
その他の収益	—	—	—	63,463	63,463	—	63,463
外部顧客への売上高	2,051,255	5,908,073	2,080,297	1,018,174	11,057,801	—	11,057,801
セグメント間の内部売上高又は振替高	101,428	43,802	18,423	77	163,732	△163,732	—
計	2,152,684	5,951,876	2,098,721	1,018,251	11,221,534	△163,732	11,057,801
セグメント利益	1,239,734	1,160,631	98,742	101,566	2,600,675	△1,030,975	1,569,699

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,030,975千円には、セグメント間取引消去1,541千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,032,516千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業において、株式の譲渡により株式会社Diverseを当社の連結の範囲から除外したことに伴い、のれんの金額が81,425千円減少しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来「婚活事業」と「ライフデザイン事業」に区分しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「加盟店事業」、「直営店事業」、「マッチング事業」、「ライフデザイン事業」に変更しております。これは、事業の共通性を軸に事業セグメントの集約を見直し、主に従来の「婚活事業」を細分化することで経営管理を一層強化し、収益の最大化を図ることができると判断したためです。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

また、会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に変更しております。

当該変更による売上高及びセグメント利益に与える影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2022年11月10日開催の取締役会において、2023年1月1日を効力発生日として当社の完全子会社である株式会社IBJライフデザインサポートを吸収合併することを決議いたしました。

(1)取引の概要

①結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称

株式会社IBJライフデザインサポート

事業の内容

生命保険の募集に関する業務、損害保険の代理業、結婚相談事業に関する営業業務

②企業結合日

2023年1月1日予定

③企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、株式会社IBJライフデザインサポートを吸収合併消滅会社とする吸収合併

④合併に係る割当内容

当社の完全子会社との合併であるため、本吸収合併による新株式の発行、資本金の増加及び合併交付金、その他一切の対価の交付はありません。

⑤結合後企業の名称

株式会社IBJ

⑥その他取引の概要に関する事項

当社の完全子会社である株式会社IBJライフデザインサポートが行う保険事業、開業支援事業を当社へ合併することで意思決定を一体化し、よりスピーディーな経営を推進することを目的としております。

(2)会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理いたします。